

平成 28 年 5 月 8 日

各 位

木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS)
会 長 長 澤 悟

A-WASS 講演会 会場変更のお知らせ

直前のお知らせで恐縮ですが、先日前お知らせした講演会について、下記により会場を変更しますので、当日は場所をお間違えのないようお願いいたします。

なお、念のため、参加申し込みをいただいていない方や欠席のご連絡をいただいた方にもお送りしていますが、会場の定員や資料の準備等の都合がありますので、出席を希望される場合は事前に (5月10日 (水) まで) お申し込みください。

また、先日もお知らせしたとおり、懇親会の参加を申し込まれた方で、キャンセルされる場合は必ず前日までにメールでご連絡をお願いします。

記

1. 日 時 5月 14日 (土) 15:00 ~ 17:00
(受付開始: 14:30~)
2. 場 所 フォーラム美夢 (森の贈り物研究会・A-WASS 事務局)
東京都中央区日本橋 3-8-1 東日本橋コーポラス 1 F
TEL: 03-3249-0421 別紙の案内図をご覧ください。
3. 講 師 武内 晴義 氏 (PEFC アジアプロモーションズ 事務局長)
4. 演 題 「国際森林認証制度について」 (仮題)
5. その他 講演会の趣旨、懇親会の詳細等については別紙の案内をご参照ください。

A-WASS 事務局 (担当: 今泉)
メール general@a-wass.org

講演会の趣旨

東京オリンピック・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場建設で、森林認証材の利用が盛り込まれる事となり、一躍注目を浴びる事となった森林認証制度。

そもそもは環境破壊につながる違法伐採からの木材ではなく、持続可能に維持管理をされた森林からの製品を明示して、最終ユーザーが区別出来るようにするもの。まずは森林が永続的に管理・利用されているか？ その森林からの木材が最終製品に至るまでトレースされているか？ を評価し書面で証明するもの。

なぜ「国際認証」が必要なのか？ 日本の森林は本当に「持続可能に維持管理」をされていると言い切れるのか？ 立木から最終製品になるまでの管理は出来ているのか？ 多くの問題を内蔵しつつ、各地で森林認証材普及が動き始めている。

その現状と課題を長年その普及にたずさわって来られた 武内氏にお話し頂く。

(本講演会は、A-WASS 総合戦略部会の活動の一環として企画したものです。)

懇親会のご案内 (講演会終了後、徒歩で移動します)

日 時	5月 14日 (土) <u>17:30 ~</u>
会 場	呂久呂 (東京都中央区日本橋久松町5-2)
会 費	3,000円 (懇親会場にて徴収します)

※ 懇親会のキャンセルについては、必ず前日までにご連絡をお願いします。

講演会・懇親会 会場アクセス

(最寄り駅) 都営新宿線 馬喰横山駅



木と建築で創造する共生社会実践研究会 (A-WASS: Action-oriented Study Group on Wood and Architecture for Symbiosis Society Creation)

ウェブサイト: <http://a-wass.org/>

メール: general@a-wass.org